

○「諫早市過疎地域の持続的発展市町村計画」分野別目標の達成状況一覧

※計画期間:令和3年度～令和7年度

持続的発展 施策区分	目標内容	基準値 (令和2年)	目標値 (令和7年)	令和3年度 達成状況	令和4年度 達成状況	令和5年度 達成状況	これまでの達成状況や効果、今後の計画及び取組方針	数的根拠等
2 移住・定住・地域間 交流の促進、人材育 成	移住定住支援事業による移住件数	4件	25件 (期間中)	4件	14件	22件	小長井地域で新しく生活をスタートさせる世帯への支援である「小長井地域新生活支援補助金」は、補助額を他指定地域より嵩上げするとともに、対象世帯の要件を拡大する等、小長井地域への移住促進を図るための支援として継続して取り組んでいく。	令和3年度補助実績:4世帯(14人) 令和4年度補助実績:10世帯(28人) 令和5年度補助実績:8世帯(23人)
	地域おこし人材の活用	—	3人 (期間中)	0人	2人	2人	令和4年度から地域おこし協力隊を2人配置。「小長井地域魅力創出コーディネーター」「山茶花高原ビレッジパーク・ハーブ園活性化マネージャー」として地域資源を生かした活性化に取り組んでおり、効果的な人材の活用を図っている。	令和4年 9月1日:1人配置(予定任期:令和7年8月31日) 令和4年10月1日:1人配置(予定任期:令和7年9月30日)
3 産業の振興	認定農業者数の維持	47経営体数	47経営体数	9	53経営体数	48経営体数	令和5年度に7経営体の認定を更新し、5経営体が認定辞退となった。引き続き新規就農者の推進を図るとともに、認定農業者育成事業等により支援を行う。	更新:7経営体(個人7・法人0) 辞退:5経営体(個人4・法人1)
	集落営農法人数の維持	1法人	1法人	1法人	1法人	1法人	農地中間管理事業を活用し、大豆、麦等の土地利用型作物、キャベツ等の園芸作物を栽培しており、引き続き地域農業の担い手を維持していくため、交付金等の活用についての支援を行う。	農事組合法人 柳新田(H28.6. 8設立)
	農作物出荷数(輪菊)	832.8千本	1,242千本	1,311.4千本	1,284.1千本	972.8千本	高温期の生育不良および経営の一部を他品目に転換したことで栽培面積が減少し、出荷本数が伸び悩んだ。 また、労力の不足のより適期の管理ができなかったことにより、一部の作型で出荷本数が減少した。 今後は、スマート機材の導入による、省力化及び生産性向上を図り、地域農業の経営安定化に向けて取組む。	JAながさき県央きく部会及び諫早匠の菊出荷組合R5年産実績 (小長井地域生産者抜粋)
	農作物出荷数(みかん)	536.9t	675t	478.8t	321.9t	443.4t	隔年結果や高齢化等による廃園のため、減収となった。 今後は、地域の中心的な担い手への集約や省力化機械等の導入を行い、樹園地の維持・拡大を行うとともに、隔年結果是正に向けた栽培管理を徹底し、地域農業の経営安定化を図り、活性化に向けて取組む。	JAながさき県央みかん部会R5年産実績 (小長井地域生産者抜粋)
	冷凍保管施設整備	1棟	2棟	2棟	2棟	2棟	コロナ禍における水産物対策として、令和3年度に諫早湾漁協が行う冷凍保管施設の整備を支援し、汎用性の高い冷凍品や付加価値の高い加工品の製造を可能とすることで、漁業者の所得向上を図った。	諫早湾漁協 冷凍保管施設整備 既存施設 1棟 令和3年度 1棟(2階建)整備完了
	改良型鋼製力キ養殖筏整備	3基	4基	4基	5基	6基	諫早湾漁協が行う波浪に対する耐久性や作業の安定性を高めた改良型鋼製力キ筏の導入を支援することで、小長井地域の更なる力キ養殖の産地化及び漁業経営の安定化を図った。 令和6年度も鋼製筏1基の整備が予定されている。	諫早湾漁協 改良型力キ養殖筏整備 平成30年度～令和2年度 3基 令和3年度1基、令和4年度1基 令和5年度1基
	諫早湾漁協正組合員数の維持	91人	91人	82人	82人	80人	漁業者の高齢化による組合員の減少が進んでおり、今後の持続的な漁業生産と漁村活力の向上を図るため、諫早市漁業担い手確保計画に基づき、新規漁業就業者の確保育成を推進する。	諫早湾漁協組合員数(小長井本所分) 正組合員109人(80人) 准組合員 36人(8人) 合計 145人(88人)
	山茶花高原来園者数	99,232人	150,000人	125,382人	123,936人	100,128人	繁忙期の天候不良が要因で来園者数が減っているが、指定管理者の自主事業やイベント開催などの努力により10万人の集客ができた。 令和5年度は施設の長寿命化などの改修を行い、令和6年度より遊具整備など集客につながる整備改修を行っていき、更なる交流人口拡大を目指す。	長寿命化事業 N=3件 施設整備 N=2件
4 地域における情報化	高速ブロードバンドサービス加入世帯率	66%	69%	70%	69%	69%	市が所有していた小長井地域ケーブルテレビ施設を民間ケーブルテレビ事業者へ譲与し、光通信サービスに対応できる通信施設への更新事業を市が財政支援し、令和3年度末までに完了した。 これにより小長井地域全域において超高速ブロードバンドサービスの加入ができ、加入世帯率も目標に達している。	CATV・インターネット加入者 R2:1,199/1,824世帯(66%) R3:1,211/1,721世帯(70%) R4:1,206/1,732世帯(69%) R5:1,197/1,727世帯(69%)
	公衆無線LAN(Wi-Fi環境)の整備箇所	—	2か所	0か所	1か所	2か所	住民の利便性の向上を図るため、小長井支所、小長井文化ホールに公衆無線LAN(Wi-Fi環境)を整備した。	R4年度設置1か所(小長井支所) R5年度設置1か所(小長井文化ホール)

持続的発展 施策区分	目標内容	基準値 (令和2年)	目標値 (令和7年)	令和3年度 達成状況	令和4年度 達成状況	令和5年度 達成状況	これまでの達成状況や効果、今後の計画及び取組方針	数的根拠等
5 交通施設の整備、交通手段の確保	市道出口平床線道路改良工事整備率	68%	92%	78.7%	81.9%	100.0%	現在まで、道路改良工事 R4までに175m 完了 R5年度完了	事業費ベースの進捗率
	市道城崎船津線道路改良工事整備率	48%	68%	87.6%	92.6%	92.6%	現在まで、道路改良工事 R5までに160m 完了 今後計画、道路改良工事 R6から L=24.2m 完了予定 R6年度完了する見込み	事業費ベースの進捗率
	市道陸橋線(徳ヶ頭橋)橋梁架替工事整備率	12%	100%	12.0%	12.0%	35.0%	現在まで、概略設計、詳細設計 今後計画、工事	事業費ベースの進捗率
	市道風生鬼塚線(無名橋4)橋梁架替工事整備率	—	29%	—	—	4.0%	現在まで、概略設計 今後計画、詳細設計、工事	事業費ベースの進捗率
6 生活環境の整備	管路の耐震化率(水道施設)	13.9%	19.0%	14.2%	14.6%	16.0%	老朽化している管や漏水の多い管について耐震管にて更新し、水道水の安定供給を図った。今後も更新及び耐震化を継続して実施し、安定供給を図る。	打越地区配水管敷設替工事(R5-1工区) 施工延長402.6m 大峰地区配水管敷設替工事(R5-1工区) 施工延長637.5m 遠竹地区配水管敷設替工事(R5-1工区) 施工延長152.8m 耐震化率13.3km/82.9km=16.0%
	接続率(下水処理施設3事業)	69.46%	75.00%	70.60%	70.97%	75.00%	小長井地域の下水処理施設(特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業)については整備を完了している。今後も接続率の向上を図るため、専属の接続推進員による戸別訪問を実施する。	R5接続率内訳(水洗化世帯1302/世帯数1736) 特定環境保全公共下水道 71.97% 農業集落排水事業(遠竹) 79.19% 〃 (田原) 87.64%
	消防ポンプ車の配備数	0台	1台	0台	0台	0台	消防団員数の減少傾向に歯止めがかからない状況であるため、消防団活動を円滑に行うために令和5年4月1日に組織再編を実施し新体制での活動を開始した。 新体制の状況に応じて整備計画を策定予定である。	R5年度組織再編 ・7箇分団 → 1箇分団7部に再編
	分団研修所の整備数	7か所	8か所	7か所	7か所	7か所	消防団員数の減少傾向に歯止めがかからない状況であるため、消防団活動を円滑に行うために令和5年4月1日に組織再編を実施し新体制での活動を開始した。 新体制の状況に応じて整備計画を策定予定である。	R5年度組織再編 ・7箇分団 → 1箇分団7部に再編
	避難所の自家発電装置整備	0か所	1か所	0か所	0か所	0か所	非常用電源の設置にあたり、設置する広域避難所や施設の状況を踏まえた設計等が必要であり協議を継続している。 この結果を踏まえ、設計・設置工事を行う方針である。	設置候補施設:小長井文化ホール
7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	放課後児童クラブ数の維持	3クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ	2クラブ	R5年度中の1クラブ減により、小長井地域には現在2施設の放課後児童クラブ(学童クラブ)が設置されている。今後の放課後児童クラブの維持については、小学校の統廃合が予定されていることもあり、施設数の維持を含め検討するとともに、利用希望者のニーズ等に対して適切に対応していく。	令和5年度実績 3小学校区 2施設 登録児童数32人
	ふれあいいきいきサロン数の維持	16か所	16か所	16か所	16か所	16か所	諫早市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、自主的な集いの場や介護予防活動への支援として、ふれあいいきいきサロンの活動に対し補助金を交付しており、令和5年度は目標値である小長井地区のサロン数16か所を維持できた。今後も開催費補助に加え、介護予防活動への支援や、東部地域包括支援センターに設置している第2層生活支援コーディネーターとの連携を通して、サロン活動への支援を継続していく。	R5補助実績 補助対象サロン:16サロン 延べ開催数: 218回 延べ参加者数: 1,667人
	地域活動センターの活動等の推進による地域生活支援	2,209人 (延べ利用者数)	2,500人 (延べ利用者数)	2,213人	2,235人	2,226人	障害者が気軽に集える居場所や創作的活動・生産活動の拠点として機能し、障害者の社会参加促進を図るとともに、地域における自立した生活の実現へ寄与した。同センターが地域にとって欠かすことのできない社会資源であるという認識のもと、今後は利用人員の目標達成及び安定した経営のための支援を図っていくもの。	地域活動支援センター:1か所 年間延べ利用者数の実績値
	タクシー料金助成での外出支援による障害者の社会参加促進	17人 (利用者数)	20人 (利用者数)	13人	12人	9人	障害者の高齢化に伴う施設入所等により、利用者数が毎年度減少している。当該助成については、障害者の更なる社会参加促進を目的として、令和5年度に乗車1回あたりの使用枚数(1枚→2枚)を緩和し、令和6年度から新たに自動車燃料券に対する助成などの見直しを図ったところであるが、今後は目標値達成に向けて、必要に応じて見直しの検討を図っていくもの。	同助成制度におけるタクシー券の利用申込者数の実績値

持続的発展 施策区分	目標内容	基準値 (令和2年)	目標値 (令和7年)	令和3年度 達成状況	令和4年度 達成状況	令和5年度 達成状況	これまでの達成状況や効果、今後の計画及び取組方針	数的根拠等
8 医療の確保	医療体制の維持	病院3か所 歯科診療所2か所	病院3か所 歯科診療所2か所	病院3か所 歯科診療所2か所	病院3か所 歯科診療所2か所	病院3か所 歯科診療所2か所	住民が安心して日常生活が営まれるよう、県央医療圏域内及び市内の医療機関と連携し、医療体制の確保が図られた。今後も引き続き医療体制の維持に務める。	病院3か所 歯科診療所2か所
9 教育の振興	小中学校屋内運動場 照明設備LED化	2校 (令和2年)	3校	3校	3校	3校	小中学校の屋内運動場照明設備の改修(落下防止及びLED化)を実施し、防災機能の強化及び利便性が向上が図られた。	実施済:長里小、小長井小、小長井中
	小長井文化ホール利用者数	15,197人 (令和2年までの5年平均)	17,000人	12,475人 (令和3年までの5年平均)	11,550人 (令和4年までの5年平均)	11,461人 (令和5年度までの5年平均)	本施設は、市民の芸術文化の向上と生涯学習の推進および福祉の推進を図るため、公民館講座などの事業を行っている。コロナ禍だった令和2年度と3年度は目標値を下回ったが、令和4年度からは利用者数が戻りつつあるので、今後も、魅力ある公民館講座の開催等に努め、利用者数の増に繋げていく。 また、施設は老朽化が顕著となっており、これまで3階の空調機改修や外壁タイル改修、図書室空調機改修を実施し、令和5年度は1,2階の空調機外改修に向けた設計業務を行った。 今後も、利用者が安心して快適に利用できるよう、個別施設計画に基づき施設の維持管理を行いながら貸館事業を推進する。	【利用者数の推移:過去5年度分】 (令和5年度) 14,624人 (令和4年度) 12,045人 (令和3年度) 6,416人 (令和2年度) 7,958人 (令和元年度) 16,265人
	小長井図書室利用者数及び貸出冊数	3,862人 17,531冊 (令和2年までの5年平均)	4,500人 21,000冊	4,442人 25,917冊	4,172人 25,585冊	3,947人 24,031冊	小長井地域の小中学校やこども園や保育園、公民館などと連携しておはなし会を引き続き行う。今後も、地域の小中高生からティーンズスタッフを採用し、読書活動を推進する。	小長井図書室ティーンズスタッフの採用(令和5年度 8名)
10 集落の整備	自治会数の維持	7自治会	7自治会	7自治会	7自治会	7自治会	7自治会及び地域運営協議会の活動を支援するため、自治組織事業補助や地域づくり協働事業など各種事業を実施。引き続き地域住民の主体的、自立的活動の活性化に結びつくよう、地域コミュニティ活動の支援を行い維持発展を図る。	R6自治会長名簿(R6.4.1時点):7自治会
11 地域文化の振興	郷土芸能保存伝承団体数の維持	5団体	5団体	5団体	5団体	5団体	令和5年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の緩和により、小長井地域の3団体に対し道具の修繕等に対して補助を行うことで活動を支援した。 今後も継続して直接補助または他の助成制度の周知等により活動を支援していく。	R5補助対象団体:5団体 (補助金交付実績は3団体)
12 再生可能エネルギー の利用の促進	山茶花高原風力発電(風車)施設の維持	2基	2基	2基	2基	0基	老朽化による破損により風力発電施設2基の運転を停止。 今後は公園内施設としての再利用とともに、新たな再生エネルギー(太陽光)の活用を検討していく。	R3山茶花高原再利用電力量 111,524KW R4山茶花高原再利用電力量 75,866KW R5山茶花高原再利用電力量 0KW

〈分野別目標達成状況の検証〉

令和5年度の分野別目標達成状況については、一部未達成の事業も見受けられるが令和4年度未着手事業に新たに着手する等、おおむね順調に進捗している。

指標が伸び悩んでいる事業については、効果の検証を行い、必要に応じて改善を図るとともに、既に目標値を達成した事業についても引き続き検証し、計画最終年度の目標達成に向け、実施状況の把握を行っていく。